

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年01月18日

計画の名称	常滑市における下水道普及の推進（重点計画）											
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）											
交付対象	常滑市											
計画の目標	・下水道の整備を行い、伊勢湾の水質保全を推進するとともに、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	1,533	A	1,533	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					(R5当初)	(R7末)	(R9末)	
1	・下水道普及率を54%（R5当初）から56%（R9末）に増加する。 下水道普及率 下水道の接続が可能な処理区域人口（人）／常滑市の行政人口（人）				54%	55%	56%	
2	・常滑市浄化センターの汚泥濃縮タンク増設工事の実施率を0%（R5当初）から100%（R7末）に増加する。 常滑市浄化センターの汚泥濃縮タンク増設工事の実施率 増設工事を実施した数（箇所）／増設工事を実施すべき数（箇所）				0%	100%	100%	
3	・常滑市浄化センターの汚泥濃縮タンク増設工事の実施率を0%（R5当初）から100%（R7末）に増加する。 常滑市浄化センターの汚泥濃縮タンク増設工事の実施率 増設工事を実施した数（箇所）／増設工事を実施すべき数（箇所）				0%	100%	100%	

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																							
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況				
		一體的に実施することにより期待される効果																					
		備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	常滑市	直接	常滑市	管渠(污水)	新設	常滑処理区(面整備)	污水管 25ha 設計、工事	常滑市						1,344		-				
	A07-002	下水道	一般	常滑市	直接	常滑市	終末処理場	新設	常滑浄化センター	汚泥濃縮タンク増設(高率)	常滑市						176		-				
															小計		1,520						
水道・下水道事業	A07-003	下水道	一般	常滑市	直接	常滑市	終末処理場	新設	常滑浄化センター	汚泥濃縮タンク増設(低率)	常滑市						13		-				
															小計		13						
															合計		1,533						

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	65				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	65				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	29				
翌年度繰越額 (f)	36				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 常滑市における下水道普及の推進（重点計画）

事 前 評 価		チェック欄
I . 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	1) 上位計画と適合している。上位計画（名古屋港海域等流域別下水道整備総合計画、全県域汚水適正処理構想、常滑市総合計画）	<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	2) 常滑市公共下水道事業計画と適合している。	<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	3) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 地域の課題への対応	地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性	1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性	2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性	3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 事業の効果	1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 事業の効果	2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	1) 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	2) 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	3) その他、事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>